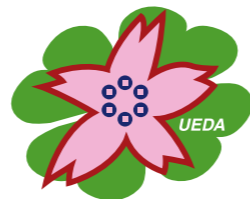


# うえだ市議会だより

## ～委員会の活動報告～



### No.15

平成21年1月1日号



### 交流・文化施設特別委員会

#### ―上田新時代の文化発信を―

- ◎ 西沢 逸郎
- 深井 武文
- 池上喜美子
- 大井 一郎
- 竹花 静江
- 田中 武
- 渡辺 正博
- 大井戸 莊平
- 外山 愷

当委員会は、J・T跡地に建設予定の交流・文化施設が新上田市文化発信の拠点、多くの市民の皆様様に親しまれ喜ばれる施設となるよう調査研究を行い、7回の委員会を開催し、基本計画策定について行政への提言をまとめ、12月定例会最終日に特別委員会としての報告を行いました。

その提言のひとつは、「市が示した上限の150億円に固執することなく、市民合意を得ながら必要とされる事業内容となるよう精査することにも、建設時期の再検討も視野に入れ、事業費を極力抑制し、財政状況を踏まえた施設規模とすること」です。

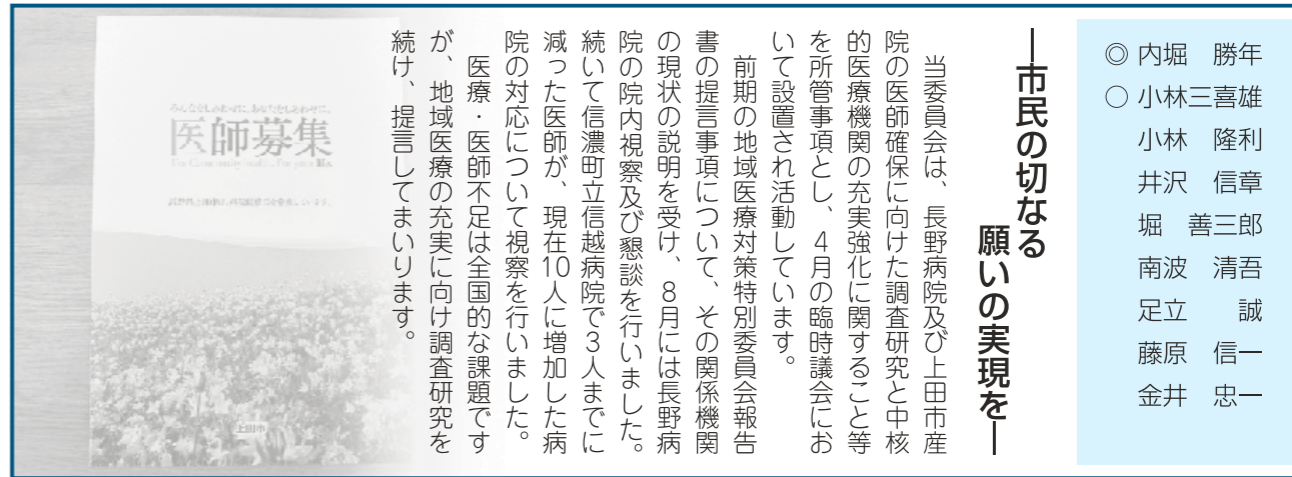
### 地域中核病院特別委員会

#### ―市民の切なる願いの実現を―

- ◎ 内堀 勝年
- 小林 三喜雄
- 小林 隆利
- 井沢 信章
- 堀 善三郎
- 南波 清吾
- 足立 誠
- 藤原 信一
- 金井 忠一

当委員会は、長野病院及び上田市産院の医師確保に向けた調査研究と中核的医療機関の充実強化に関すること等を所管事項とし、4月の臨時議会において設置され活動しています。

前期の地域医療対策特別委員会報告書の提言事項について、その関係機関の現状の説明を受け、8月には長野病院の院内視察及び懇談を行いました。続いて信濃町立信越病院で3人までに減った医師が、現在10人に増加した病院の対応について視察を行いました。医療・医師不足は全国的な課題ですが、地域医療の充実に向け調査研究を続け、提言してまいります。



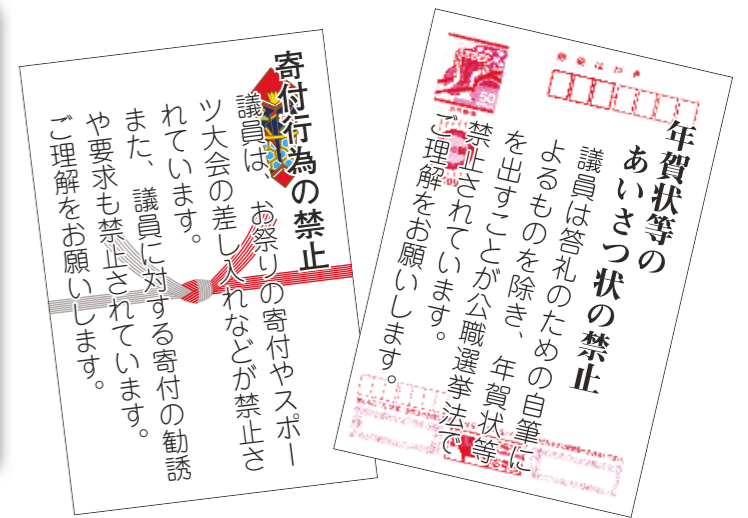
### 議会傍聴にお越しく下さい

次回の定例会

## 2月23日(月)から

手続き簡単！傍聴券を受け取るだけ！

受付は、本庁舎5階の議会事務局で行っています。



### 一意専心、総力結集！

議長 丸山 正明  
副議長 外山 愷

新年おめでとうございます。市民の皆様方一人ひとりにとって幸多き年となることを願い、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年は、議員任期の折り返しの年として四月に臨時議会を開き、正副議長始め各委員の改選を行いました。新たな風を吹き込みながら、議決等を通じて市の重要事項の最終的な意思決定を行い、まずは大切なその使命を果たせたものと考えております。

私たち議員は、市民の皆様への負託を受けている責任の重さを常に自覚し、市長・行政と緊張感を保ちながら議会としての力を最大限に発揮していかなければなりません。このため、市民の皆様の声やタイムリーに反映可能な、かつ透明性の高い議会運営に向けて不断の努力が大切であり、現在改革を進めています。その一つとしてこうした議会広報もありますので、毎号是非ご覧いただきたいと思っております。

さて、世界に目を向けて見ますと米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱は、世界的な規模となり、日本の金融機関にも大きな損失を与え、製造業を始め景気は後退局面を呈しており、先行きは極めて不透明な状況にあります。加えて国政が不安定な状態にあり、地方にとっても財源の確保等厳しい動向が予想されるところであります。

こうした中で、地方分権時代に的確に対応し、上田市の自律性を高めていく必要があります。地域でできることは地域で行うなど、市民の皆様にも議会・行政と役割分担をしながら、共助循環型ともいえるべきに支え合う社会の仕組みづくりに参加していただくことが大切となりますので、ご協力をお願いいたします。

いずれにいたしましても夢や希望の実現する明るい上田市づくりに議員一同専心しますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

これまでの議会の各委員会の活動概要を次のページから紹介します。

### 編集後記

新しい年が始まりました。昨年は世界的な金融危機の影響による原油・穀物等の高騰に伴う物価高、雇用不安で庶民の暮らしは大変厳しい環境におかれまして。国も地方自治体も、住民の暮らしを守り、福祉の増進を図ることが本来の役割です。議会も、そのために大切な税金が使われているかをチェックし、施策の提案をしていく役割を担っています。

新年号では、昨年4月に新体制で発足した各委員会活動の委員長による報告を掲載しました。今年には議員任期の最終年度になりました。委員会ははじめ、様々な活動を通じて、議会の役割が十分果たせるように取り組んでいかなければと思います。

(古市 順子)

平成21年1月1日発行  
発行：上田市議会  
〒386-8601 上田市大手一丁目11番16号  
TEL.0268(22)0452 FAX.0268(23)5136  
E-mail: gikai@city.ueda.nagano.jp  
URL: http://www.city.ueda.nagano.jp  
編集：議会広報特別委員会  
委員長：大井 一郎  
副委員長：井沢 信章  
委員：三井市上 順哉子  
古池 喜美子

### 総務文教委員会

- ◎ 下村 栄
- 小林 隆利
- 井沢 信章
- 三井 和哉
- 下村 聖
- 西沢 逸郎
- 堀 善三郎
- 外山 愷
- 久保田由夫

#### 子どもたちを 犯罪から守るために

当委員会は、新メンバーにより所管の様々な課題に取り組んでまいりました。

また、今年度の行政視察では、昨今の社会問題となっている携帯電話やパソコンの普及による「インターネット犯罪から子どもたちを守るには」というテーマから、石川県野々市町の先進事例を勉強させていただきました。この問題は多くの委員が関心を持ちました。上田市の子供たちが大人社会の犯罪に巻き込まれることのないよう、今後も総務文教委員会として取り組んでまいります。



### 産業水道委員会

- ◎ 児玉 将男
- 清水 俊治
- 内堀 勝年
- 小林三喜雄
- 竹花 静江
- 渡辺 正博
- 滝沢 清茂
- 武藤 弘

#### 産業振興は市政の要

弘前市及び盛岡市へ行政視察を行いました。長野県のオリシナルりんご「シナノ3兄弟（シナノスイート、シナノゴールド、秋映）」の3品種は、青森や岩手の奨励品種として強力に栽培を推進しているとのことでした。お家元の長野県は、そして上田市はどうか対応するのか、と考えさせられました。当委員会は農業、商業、工業、観光及び上下水道と審議内容が幅広く、市民の皆様と直結しています。

世界的金融危機の中で商業及び工業対策、食の安全及び生産物の低価格化対策、上下水道の料金統一等、多くの課題に取り組んでまいります。



### 厚生委員会

- ◎ 足立 誠
- 池上喜美子
- 安藤 友博
- 大井戸 莊平
- 南波 清吾
- 土屋 陽一
- 藤原 信一
- 金井 忠一

#### 明るい豊かな 社会に向けて

当委員会は、本年度の行政視察を10月14日から16日にかけて行いました。兵庫県養父市では、公立八鹿病院において「総合診療科の取り組み」について、大阪府高石市では「総合保健センター」の先進地視察を行いました。少子高齢化社会の急速な進展により、医療・福祉に対する市民ニーズが多様化する中で、住民福祉のさらなる充実に向けて今後も委員会として取り組んでまいります。



### 環境建設委員会

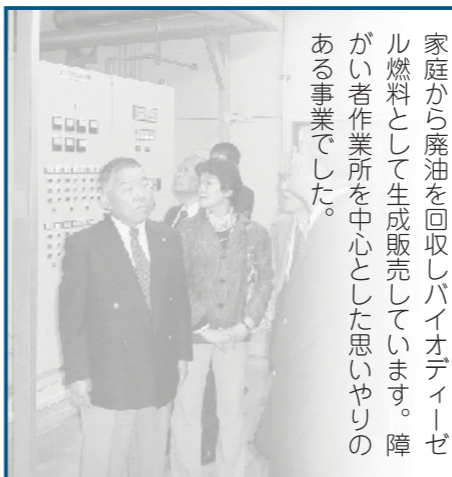
- ◎ 土屋 孝雄
- 田中 武
- 古市 順子
- 大井 一郎
- 尾島 勝
- 深井 武文
- 成田 守夫
- 南雲 典子

#### 環境先進地を視察して

10月15日から17日にかけて青森県弘前市、深浦町、秋田県能代市、大館市の環境行政等を視察してまいりました。

大館市の「エコタウン計画」は産業から出るすべての廃棄物をほかの分野の原料として活かし、「廃棄物ゼロ」を目指す構想です。廃プラスチック利用の新建材、デッキ材、サッシ枠ベンチ等、実に魅力的な製品を生み出していました。

また、廃食用油回収システム構築事業では、「JOYさあくる（障がい者小規模作業所）」が、定期的に団体や家庭から廃油を回収しバイオディーゼル燃料として生成販売しています。障がい者作業所を中心とした思いやりのある事業でした。



### 議会運営委員会

- ◎ 南波 清吾
- 滝沢 清茂
- 小林 隆利
- 清水 俊治
- 尾島 勝年
- 下村 正博
- 渡辺 友博
- 安藤 誠一
- 足立 信一
- 藤原 信一

#### よりなる議会 活性化に向けて

平成19年からスタートした対面式での一般質問は、市民の皆さんから好評をいただいています。これまで、理事者側と相対して議論すべく仮質問席を設置してきましたが、これを正式な質問席とするため議場改修を検討しています。来年度には、改修した議場での、より白熱した議論がご覧いただけるものと思います。

また、質問方法も一問一答方式のよくな市民の皆さんに分かりやすい議論となるよう、改革を進めております。ケーブルテレビでも放映されておりますが、ぜひ議場へも傍聴にお出かけいただき、ご意見をお聞かせください。



### 議会広報特別委員会

- ◎ 大井 一郎
- 井沢 信章
- 三井 和哉
- 古市 順子
- 池上喜美子

#### 親しまれる 市議会だよりを

市議会だよりを多くの皆さんに読んでいただくため、文字を大きくしたりどうか、紙面の空白部分を広くとってはどうか、写真を多くしたりどうかなどはどうか、写真を多くしたりどうかなど、読みやすい記事にするにはどうしたらよいか協議を重ね、工夫をこらして編集しています。

また、親しまれる市議会だよりにするために、表紙に保育園や幼稚園の子どもたちの写真を入れるかどうか、さらに、地域の市宝（市指定文化財）の連載は続けるべき等の協議をいたしました。市民の皆様により親しんで読んでいただくために努力を重ねてまいります。



### 行政改革特別委員会

- ◎ 南雲 典子
- 三井 和哉
- 土屋 孝雄
- 下村 聖
- 清水 俊治
- 尾島 勝年
- 下村 栄一
- 土屋 陽一
- 久保田由夫

#### 市民の目線で提言を

前期委員会のノウハウを活かしながら「補助金のあり方」、「民間活力の導入」の2点の提言に絞り込み、現在、調査研究中です。

補助金は、本来補助団体の自立性を促すべきですが、運営経費に充て続けられているものもあるなど課題があります。公益性を持って市民の税金が広く公平に効果的に使われるよう、あるべき姿の明確化を目指します。

また、民間活力の導入も進め、市民協働による行政改革が速やかに進むよう行政に働きかけます。議論を深め、市の行政改革の実効性がより高まるよう市民の目線で提言していきます。



### 分権型地方自治特別委員会

- ◎ 竹花 静江
- 古市 順子
- 小林 隆利
- 小林三喜雄
- 滝沢 清茂
- 安藤 友博
- 成田 守夫
- 児玉 将男
- 武藤 弘

#### 住民自治基本条例の研究

「分権型地方自治研究会」から「分権型地方自治特別委員会」となりました。地域内分権について、地域予算、地域自治センター、地域振興事業基金など調査研究をし、どのように市民の皆様と新たな住民自治を構築していくのか提言したいと思えます。

また、市民の皆様の参加によりつくられる住民自治基本条例の調査研究を所管しており、どのような条例にしていったら上田らしさを出し、協働のまちづくりができるのか検討してまいります。

